



今回は、国際貢献活動の第二弾、教育支援ボランティアについての報告です。

◇ 小学校の国際・日本語教室、初期適応指導教室でボランティアに参加しました。

日時：平成28年9月30日(金) 8:30 ~ 14:30

場所：美濃加茂市立古井小学校 国際・日本語教室、のぞみ教室(初期適応指導教室)
美濃加茂市立太田小学校 国際・日本語教室

参加者：2年生の希望者9名

目的：外国人児童・生徒を対象とした教育支援活動にボランティアとして参加し、国際理解・多文化共生について実践的に学ぶ。

協力：美濃加茂市立古井小学校、太田小学校 美濃加茂市教育委員会

- 2年生の有志9名が、美濃加茂市の小学校に出かけました。外国人児童・生徒に日本語や算数・数学を教える教育活動に、ボランティアとして参加するためです。
- 美濃加茂市は、市の人口の約7・5%が外国人。小学校や中学校には、外国にルーツをもつ子どもたちが多く学んでいます。中でも古井小学校は、6人に1人の割合で、外国人の子どもが学んでいます。
- 来日したばかりの子どもたちの中には、日本語が全く分からない子もいます。美濃加茂市では、そうした子どもたちのために、初期適応指導教室(のぞみ教室)を設けています。
- 市内の各小校には国際・日本語教室があり、子どもたちはこの教室で日本語や算数の個人指導を受けています。
- 外国人市民の多く住む美濃加茂市では、日本人と外国人が分け隔てなく、対等な美濃加茂市民として、誰もが安心して快適に生活できるよう、多文化共生推進プランが策定され、街づくりが進められています。
- 美濃加茂市の先進的な取り組みや現状について知りたい。実際に外国人の子どもたちと接し、教育支援や多文化共生を実践的に学びたい。そんな気持ちで、9名の生徒がボランティアにチャレンジしました。
- 人にもものを教えるという、慣れない仕事に戸惑いましたが、教室の先生方に助けていただき、その楽しさに触れることができました。また、子どもたちにも、明るく親切に接してもらえました。



写真上段：古井小学校
中断：太田小学校
下段：のぞみ教室

参加した生徒の感想

<のぞみ教室>

■先日、美濃加茂市の「のぞみ教室」に訪問させていただきました。「のぞみ教室」には、フィリピン、ブラジル、中国の子ばかりで、最初は上手く関わる事ができるか不安でしたが、みんなとても日本語が上手で、とてもフレンドリーだったのですぐに仲良くなることができたし、みんないい子たちばかりで、一緒にいろいろなことをするのがとても楽しかったです。

子供達に算数や平仮名を教えるときに、僕たちはいつもは教わる側で、教えるということは滅多にしないので小さい子供たちに理解してもらえるように教えるのはとても難しかったけど、みんな真剣に聞いてくれて嬉しかったし、笑顔ではっきり話すといいということなどが学びました。

先生方は、わかりやすく楽しい授業にするためにクイズ形式にしたり、挙手制にしたりなどいろいろな工夫をしていて僕たちも勉強になったし、生徒たちがふざけたり喧嘩したりしているときは、ちゃんと見逃さず厳しく注意していて、ダメなことはちゃんとダメだと教えることも大切だと改めて知ることができました。

このような体験を通していろいろなことが学べたので、これからの SGH や自分の将来にしっかりつなげていけるようにしたいです。

貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

■私はまだ日本来たばかりという子たちが集まる、古井小学校ののぞみ教室の方に参加させていただきました。行く前はずっと言語の違いを心配していたのですが、外国人の子たちと接していくうちにそんな心配はなくなりました。二時間目の後の休み時間はみんなでバレーをしたり、お昼休みでは鉄棒で無邪気に遊ぶ子たちにまざり、私もぐるぐる遊んでいました。

最初は宿題のチェックのお仕事をさせていただきました。わたしは要領よくやることができず、数人の宿題しかみることができませんでした。どの子も日本語をなんとか覚えようとしている努力の跡がわかりました。

その後は一対一で算数と国語を教えることになり、上手にできるかどうかとても不安でした。算数では***ちゃんの先生となり、2ケタの引き算足し算を教えました。彼女は算数が得意みたいで私が教えるまでもなく、スラスラ解いていて私の仕事は丸付けくらいでした。まだ小さい子なのに異国の地で頑張っていてすごいと思いました。

国語では〇〇〇ちゃんを担当しました。彼女もとても良くできる子で、スラスラと問題を解いていました。所々わからない文字があったみたいで、それを私に聞いてきたのですが、『村』と『町』の違いについて、私が英語を使って『ビレッジ』と『タウン』かなとカタコト英語でいったら、「ああ！」とわかったらしく伝わってよかったです。

今まで学校の授業以外で英語を使うことは全くなかったのが単語をいっただけですが伝わったことにとっても感動しました。その後、〇〇〇ちゃんとは休み時間でも映画のお話をしたり、年齢当てゲームをするなどとても仲良くなれました。

今回とても貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。指示を待つことしかできなかったのが本当に悔やまれます。もっと積極的に動くことができるように今後頑張りたいです。

■今回は貴重な経験を体験させていただきありがとうございました。今回のことは僕たちが進めていく SGH の大切な資料にもなりましたし、自身が進んでいく進路にとってもとても参考になりました。



「友人に勉強を教える」というのは幾度とやってきたことがあります。そしてその教えるという行為が好きなのだと思いますので教員の道を選びました。しかし、今回のボランティアは、思った以上に難しいものでした。自分が話す日本語を全ては理解できない生徒に対してなので、どうすれば相手に伝わりやすいのか、自分はどのように教えられてきたのか、どう教えられたいのか、そのことを考えながら教えるのは容易ではなかったです。



この教育支援を通して、自分は「相手の目線に合わせる」のが大切なのではと思いました。アイコンタクトをする、相手のそばに寄り、会話するように教える、いろいろありますが、そういうことの積み重ねで生徒が心を開いていってくれると思いました。その結果、勉強のモチベーションを向上させ、意欲を高めてくれるのかなと思いました。

言語、文化の違いの壁というものはやはりあると思います。それをどう乗り越えるかが大切だとわかりました。リアルな生徒との半日は、とても充実なものとなりました。生徒達も話しかけたりしてくれて、嬉しかったですし、楽しかったです！このような機会を設けてくれた古井小学校、のぞみ教室の教員のみなさん、生徒たち、本当にありがとうございました。

<太田小学校>

■自分の母校だとはいえ、とても緊張して不安を抱えていきました。でも学校に入れば明るく挨拶をしてくれる生徒の子がたくさんいてすぐに慣れました。



国際学級ではもっと教えるのが大変だと思っていました。でも、熱心に先生の話の姿や自分から分からない所を聞いてくれたり、本当に嬉しかったです。また教えたあとに「ありがとう」と笑顔で言ってくれたことが本当に嬉しかったです。短い時間ではあったけどやりがいを感じることもできました。本当に楽しく充実した1日でした。

■行く前は、大勢の前で授業をするのかなと思っていましたが、実際行ってみると、少人数のクラスを支援するということで、緊張も少し和らぎました。

また、生徒全員、とても日本語が上手で、英語で話すのかなと不安だったのですが、無用な心配でした。笑顔で明るくてちゃんと話を聞いてくれる人が多かったので、楽しんで教えることができました。

間違いなく、この経験は自分にとって大きなものとなりました。国際化が進むことにより、太田小学校のような学校はこれから増えるかもしれません。子どもたちには異文化によるストレスもあると思いますが、先生方が細部にまで気を遣っていて、とても、楽しそうに過ごしていたように思えます。太田小学校の取り組み方は、とてもいいものだと思います。

このような、機会をつくってくださった太田小学校の先生方に非常に感謝しております。また、関わられたらいいと思っています。

■国際学級ということで、外国人の子に上手く教えられるかどうか緊張していました。でも、低学年の子もみんな日本語がとても上手で驚きました。漢字のドリルをやっているのを見て懐かしかったです。ちゃんと書き順を間違えずにできるか見ていて、違う所を見つけ教えると、「あ、そうだった！」と素直に聞いてくれてとても嬉しかったです。別の子もまた、教えると「はい」と言って直してくれるので、私もしっかり教えようという気持ちになりました。自分の説明では



わからなそうな顔をしていた子も、先生の説明だとすぐ理解していて、改めて先生の教え方はすごいんだなと思ったし、将来先生になりたいとはまだわからないけど、わかりやすく教えられる人になりたいなと思いました。また、先生はスマホで画像を見せたり、簡単な言葉で話したりと工夫されていました。みんなにわかりやすいよう考えてやっていらっしやうって、すごいなと思いました。途中でゲームをしたりして楽しい時間を過ごせました。

普通学級に入らせてもらったとき、みんなの明るさに驚きました。給食の時間にたくさん質問してく

れたりして、私と関わってくれて嬉しかったです。休み時間も「一緒に遊ぼう！」と誘ってくれて、全力で楽しめました。休み時間が終わるチャイムになるとみんなが一斉に校舎へ戻り素早く掃除に取りかかっています。しっかり切り替えができていてすごいと思いました。

太田小学校のみんなは挨拶がとても気持ちよくて私も元気になりました。これからもみんなには勉強も大事だけど、楽しい思い出をたくさん作ってほしいと思いました。少しの間でしたがとても楽しかったです。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

<古井小学校>

■今回は「命を守る訓練」もあり、忙しい中、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。関高校はSGH（スーパーグローバルハイスクール）に認定されていて、私たちの班では先進国と発展途上国の教育の違いについて研究をしています。今回の体験授業は主に教育についていろいろな体験を通じて当たり前のことを教える難しさ、国を超えての子どもとの関わり方などを学びました。

今回の体験授業を受ける前までは、国際教室は通常の教室とは全くの別物だという認識があり、それぞれが違う方向性をもって授業をしていると思っていました。地元の小学校には国際教室などと言うものはなく、外国人の人もいても一人か二人で、外国人との関わりに少し違和感がありました。しかし、美濃加茂市や可児市には外国人が多く、市内の小中学校には多くの外国人の児童・生徒がいることがわかりました。古井小学校には六人に一人が外国人ということで外国人がとても身近なものであることにびっくりしました。

発展途上国には限りませんが、他国の言葉や文化に触れる中でそれぞれの接し方、更には相手が子どもなので余計関わり方に気をつけました。間違っていたら指導する、あっていたら褒めるという基本的な考えは相手が外国人であれ変わらないんだと思いました。

僕たちの研究テーマである発展途上国と先進国との教育の違いについて、どこが違うのかをはっきりさせることで問題解決へと向かって行くと思います。発展途上国には先生が足りません。学校も足りません。勉強をする環境が整っていないのです。十分な教育が受けられないまま成長した大人が教育する側になって悪循環が生まれたのです。家が貧しいがために小学校の年代から働き家計を支えていると言う現状も珍しくはありません。

先進国の私たちが考えるほどひどい格差がそこにはあります。だから、私たちはその現状を受け入れなるべく格差を減らすために研究をしていきたいです。今回の体験授業で教育について子どもへの接し方や外国の言葉や文化を学んだのでそのことが活かせるように今後も研究をすすめていきます。

今回はありがとうございました。

■自分には将来、高校の数学の教師になるという夢があります。そんな自分にとって、今回の活動は自分の進路を考える良い経験になりました。教えるのは小学生ということで、参加する前からとても楽しみにしていました。いざ参加してみると、自分にとっては当たり前の基本を教えることの難しさや、教えることの楽しさを感じることができました。自分は改めて教師の道に進み

たいと思いました。決して楽ではない、だからこそ今回の体験をバネに頑張っていきたいと思いました。

今回は「国際教室」を担当しましたが、もうひとつの、「のぞみ教室」にも非常に興味を引かれました。というのも、自分が小学生だった頃、ひとつ下の歳ではありますがブラジルから来た子がいました。今回の活動で、ブラジルからきたあの子ども学校に来るまでにはこんな過程があったということがわかりました。小学生の頃は「のぞみ教室」さえも知らず、外国人の子がいてもなんとも思いませんでしたが、今思うと、美濃加茂の「のぞみ教室」あってこそなのだと思います。

今回の体験を通して、多くのことを学び気づくことができました。このことは、なかなか体験することのできない非常に貴重なものだと思います。今回学んだことをいかして、今後のSGH研究や進路実現につなげていきたいと思いました。



■今回、私は国際教室の授業に参加させていただきました。小学校の雰囲気懐かしく、とても楽しかったです。

日本に来ている子が学んでいる教室なので生徒の人数は少ないのですが、習熟度の大きな違いのある生徒を少ない先生で指導するのは大変なことだと思います。

足を揃えなさい、姿勢をよくしなさい、文字を書く時は左手を添えなさい、挨拶をしっかりやりなさいなど、態度面の指導も日本の生徒と同じように行っていたことに驚きました。休み時間や、給食、朝の会、帰りの会のときは、クラスに混ざって行動しているところを見て、学習だけでなく、日本で生活していくことを考え集団生活を学んでいるところが、家でひとりで勉強しているだけでは出来ないことだから、学校に行く良さだと思います。



私達は今、発展途上国の教育状況について調べています。日本で外国人の子どもが学習できるように制度等が整ってきていて、問題の解決に一歩ずつでも近づいていると思いました。

貴重な体験をさせていただきありがとうございます。

